

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成23年11月4日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670400219
法人名	医療法人 二三和会
事業所名	グループホーム わかば
所在地	鹿児島県枕崎市若葉町85番地 (電話) 0993-73-5101
自己評価作成日	平成23年9月20日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://kaken-shakyo.jp/kohyo
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成23年10月25日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

職員全員が個人目標を立て日々努力され、アットホームな雰囲気のあるグループホームであり、利用者様と職員がいつも寄り添いながら笑顔が絶えない生き生きと生活していけるよう支援しています。行事毎にも力を入れ、利用者様の要望には全て聞き入れ、外食に出かける機会を増やしたり、子供たちとのふれあいの場を増やしたりと要望があった場合にはすぐに職員全員で取り組んでいます。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・ホームの玄関に、職員全員の年間目標の掲示があり、日常生活のケアに関連する具体的な目標が掲げられている。
- ・利用者の笑い声が調査中もよく聞こえ、平穏な日常生活の様子がうかがうことができた。
- ・利用者の外出希望に沿った支援に努めている。
- ・地域との交流に取り組み、自治会への加入・祭りや十五夜行事等へ参加するなど、関係性は深まっている。
- ・管理者は、日常の介護を通じて地域密着型グループホームの進むべき方向性を示しながら、職員とケアの目標を共有して支援にあたっている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	<p>○理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている</p>	<p>地域密着型サービスの意義を踏まえた理念を掲げ日々のケアに取り組んでいる。</p>	<p>理念は、わかりやすく、毎日の朝礼で唱和し、職員の一日の目標と共に、常にケアの根幹として共有されている。創設7年を経過し、さらに付加したい内容を見直し中である。</p>	
2	2	<p>○事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している</p>	<p>自治会にも加入しており、奉仕作業などにも職員が参加し、祭りや十五夜等地域活動にも職員と利用者が一緒に参加している。</p>	<p>創設当初から自治会に加入し、積極的に自治会の役員会等に出かけ、ホームの紹介や情報収集を行っている。また、施設の行事への参加呼びかけをして、行事を通じた交流がなされている。近隣住民と共に消防訓練を実施予定である。</p>	
3		<p>○事業所の力を生かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。</p>	<p>公民館役員会に管理者が出席し、地域の方々に支援の方法を報告している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>会議は定期的開催し事業所の報告を行い、参加者の方より意見、質問、要望を受け検討しサービスの向上に努めている。</p>	<p>市担当職員や民生委員・家族代表・入居者が出席し、定期的開催されている。会議では建設的な意見が出ており、また外部評価の報告もされている。できることはすぐ取り組んでおり、サービス向上につながる会議となっている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>毎月市担当者に『わかば新聞』を届け、その際事業所の実情を伝え協力関係を築いている。</p>	<p>市の担当者に、毎月入居者の報告や運営上の相談等を行い、連携は取れている。2ヶ月に1回開催される行政の連絡協議会にも参加し、情報交換を行っている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>管理者を中心に全ての職員が定期的に身体拘束委員会を開き、会議の中で話し合い身体拘束をしないケアに努めている。</p>	<p>定期的に身体拘束廃止委員会を開催し理解を深めている。玄関・居室に施錠をすることはなく、自由な暮らしを支援している。入居者が一人で外出する時は、さりげなく職員もついていき、見守り支援をしている。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>虐待防止法を職員全員で学び、虐待のないケアを実践している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	研修がある時には出席しその研修内容を職員全員で共有している。現時点では必要と思われる方はいらっしゃらない。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	十分な説明を行い、理解・納得される様話し合いを行っている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	利用者や家族の意見、要望等は面会時や電話等で聞き、意見・要望があった場合は職員間で話し合いを行っている。	家族からは面会・電話・運営推進会議等で意見や要望を聞き、家族の遠方者には手紙で対応している。入居者は日常の関わりの中で把握し、朝礼・ミーティングで検討し運営に反映させている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	毎月ミーティングを開き色々な問題に対し意見交換をしている。	職員の意見や提案は、朝礼・ミーティング・日常の会話・管理者との面接の機会を設け、自由に話せる雰囲気づくりをしている。提案などは全員で検討し業務改善に反映させている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>毎月プロジェクト会議を開催し、管理者や職員個々の悩みや意見等を聞く機会を設けている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>毎月法人全体の研修会を開催し、講演等を聞きながら勉強会をしている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>定期的に市サービス事業所研修会に出席し、互いの事業所の問題点や意見交換などをしながら、お互いの事業所のサービスの質の向上を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居時、本人様より、不安・要望等に傾聴し、確かに受け止めた事を解って頂き内容によっては家族からの情報を得て、説明し安心してもらえる様努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	説明不足があったら補い、家族の困っている事で要望等を聞き、内容によっては問題解決していける様コミュニケーションを図る様努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	その時の状態を見極め、状態に応じて支援し、必要があれば他のサービスを利用している。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	自立は見守り、かつ残存能力は引き出し、共に生活の中に喜怒哀楽の感情を出してもらえる様関係作りに努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	本人と家族との中立の立場に職員はおり、情報交換にも努め、家族が気軽に訪問でき、訪問時は、居心地良く過ごせる様な雰囲気を作っている。利用者として過ごす中で会話を大切に、教わったり、学んだり支えあう関係を築いている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人が行きたい場所、会いたい人を聞き、自宅等への訪問も支援し、入居者の方々に喜ばれている。	入居者の馴染みの人や会いたい人、行きたい場所への要望には、全て対応することを目標にし、実践している。要望がない入居者からも生活の中で聞き出し、外出や訪問などの支援をしている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	時にはトラブルもあるが、利用者同士が話しやすい様に話題を提供し、会話や情報交換が活発になるように配慮したり、職員が座席の配置にも気を配り、利用者がうまく生活できる様努めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	家族の方に電話し、今どんな状況でどんな状態なのかを聞き、心配事や聞きたい事はないか尋ね、本人や家族にも配慮している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々の生活や会話の中から利用者本人の希望や意向の把握に努めている。	入居時のアセスメントや家族等からの情報から意向を把握し、また日常生活の中での言動から意向を探る努力をしている。「歩きたい」という利用者の意向に沿って、付き添い歩行を支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人や家族からの情報を基に利用者一人ひとりに適したサービス利用の経過に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日常生活の流れを職員全員が把握し、変化があるときには申し送りを確実にする様に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	家族、主治医、職員等の意見を取り入れ介護計画を作成している。	個人の「できること・できないこと」シート、介護記録・管理日誌等からの情報を得て、職員会議を開き、一人ひとりの課題やケアについて話し合い、個別ケアを展開している。また随時計画を見直し、現状に即した介護計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>管理日誌や介護記録、申し送りノート等の情報を共有している。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>24時間医療連携をとっている。又本人、家族の方々の状況に応じ出来ない事は職員が支援している。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>地域資源は大いに活用している。（警察、消防、ボランティアの方々など）</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>入居時にかかりつけ医を決め、適切な医療が受けられるように支援している。</p>	<p>入居時に、かかりつけ医について、本人や家族と相談して受診の支援をしている。定期受診は職員が歯科受診も含めて送迎している。専門医については家族の協力を得て支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>協力医療機関との看護職員に相談を行い、必要時には速やかに受診や、看護を受けられるように支援を行っている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入居時より協力医療機関との関係作りを行っており、情報交換や相談に努めている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入居時に重度化や終末期に向けての説明を行い、主治医も家族の意向を把握され取り組んでいる。</p>	<p>入居時に見取りケアまで行うことや重度化にも対応することを説明し了承してもらっている。入院も家族と協議しながら、入院期間を気にしないで治療に専念する体制ができている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>随時ヒヤリハットの記録、応急手当、初期対応は実践し、AED等は定期的に訓練を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年3回防災訓練、救急訓練を行い、近隣の方々にも協力をお願いしている。</p>	<p>消防署の協力で定期的に防災・救急訓練を実施している。関連施設や地域住民の協力も得て、災害対策の連携ができています。現在、備蓄の確保について計画推進中である。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>個人情報の取り扱いに関しては、職員の採用時に誓約書を交わし、記録物は他者の目に触れないように保管している。利用者の方々への声かけは、職場で話し合い、親しみの持てる思いやりのある声かけをしている。</p>	<p>入居者の呼称については、本人及び家族に希望を確認して決めている。トイレ誘導は「トイレ」の言葉を使わないように注意し合って、利用者個々にさりげなく対応している。</p>	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>生活暦から好きなことを見つけたり、職員は常に利用者の状態を把握し、外出されるときにはさりげなく着いて出たりし、見守りを行い自己決定できるように支援している。</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>その日の過ごし方について、個別に声かけし体調や希望を聞き、本人の外出、着衣などの選択を支援し、気持ちよく暮らしが出来るようにしている。</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	<p>希望がある時は衣類の買い物に出かけたり、希望の美容院に職員やご家族が付き添い外出されている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	野菜の皮むきやカットは職員と一緒にやっている。お膳拭きも利用者に手伝ってもらっている。	入居時のアセスメントで嗜好調査を実施し、献立については入居者の希望を取り入れて楽しい食事に努めている。また、栄養士の指導を受けてメニューを決めている。職員も毎食同じテーブルで一緒に食事を摂っている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	管理栄養士にアドバイスをもらいながら献立を作っている。また、食事量や水分量は毎日記録している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後洗面所まで誘導し一人ひとりに応じた介助を行い、夜間は毎日洗剤に浸けている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	トイレ誘導の時間を設けており、排泄のなかった利用者にはその時間外にも誘導したりと、失禁のないように支援し、自立に向けた排泄の支援を行っている。	利用者各自の排泄パターンを把握している。リハビリパンツ使用したり、尿取りパットを使用する等、また自立で見守り支援を行っている。トイレへの誘導の声かけにも個人の尊厳を傷つけないよう、さりげない気配りを行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎日排便チェック表にチェックし、食物繊維を含む食品の摂取や水分摂取、個々に応じた便秘予防に向けた運動への働きかけをし、習慣性便秘にならない様支援している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	午前、午後の2回に分かれて入浴をされている。その日の体調や気分を考慮しながら楽しく入浴できるよう支援している。	一日おきに、午前と午後の希望する時間での入浴ができ、毎日でも入浴できる。入浴をいやがる利用者には、時間や様子をみながら声かけして対応している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりの生活環境や生活習慣に気づかい、状況に応じ休息したり、安心して気持ちよく眠れる様に支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	毎月1回ミーティングに主治医を招き薬の目的や副作用、用法や用量について説明があり、職員全員が理解し服薬の支援と症状の変化の確認など職員全員で努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	園児との交流や月に一度のボランティアの方が訪問し、利用者が楽しめるように支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>職員と一緒に買い物や墓参り、散歩やドライブ等本人の希望に添えるように支援している。</p>	<p>毎日外出することを目標に取り組みを行っている。車での外出支援も行っている。日常的に行けない場所への外出は、年間行事や家族の協力を得て、本人の希望が叶えられるように極力努力している。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>買いたい物や買い物に出かけた際には職員と一緒に出かけられ、利用者一人ひとりに応じて金銭管理の支援を行っている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>挨拶状（年賀状、暑中見舞い）、贈り物等が届いた時には希望があればいつでも連絡とれるように支援している。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共用空間は明るくロールカーテンなどで調整している。温度、湿度の換気、テレビ、ステレオの音量にも配慮がしてある。庭には季節野菜を植え玄関には季節の花を飾り、ホールには月の行事、写真などを飾り生活感あふれる共用空間に工夫を取り組んでいる。</p>	<p>利用者が、居室よりもなるべく共用空間で時間を多く過ごすように工夫している。バリアフリー構造なので、車いす利用者も自由に過ごせる。季節感を取り入れた家庭的な空間作りに取り組んでいる。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>好みのぬいぐるみや写真、本など馴染みのある物を置き思い思いに過ごせる様工夫してある。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居する際に本人や家族から聞き、居室に馴染みのある物を持ち込んで頂き、居心地よく過ごせるよう支援している。</p>	<p>私物や馴染みの家具の持ち込みも可能であり、タンスや写真の飾り付け等、家族に依頼してその人らしい空間作りを行っている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>建物内部はバリアフリーになっており、歩行者の為の手すりも設備され自立支援を行える様にしている。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない